

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-1 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実
---------	----------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

社会教育課 前田秀典

電話番号

0852-22-5910

事務事業の名称	社会教育主事確保・養成事業	
目的	(1) 対象	市町村
	(2) 意図	<ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域が連携協力した子どもの教育に関わる環境づくりを推進する。 島根の地域の特性を生かしたふるさと教育を推進する。 地域づくりを担う人づくりを推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市町村派遣等の社会教育主事を養成する。 社会教育主事に必要な能力向上のための研修を実施する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 社会教育主事講習への派遣人数（教員）	目標値		12.0	12.0	12.0	12.0	人
		取組目標値						
	式・定義 人数	実績値	11.0	7.0				
		達成率	-	58.4	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	2,605	4,379
うち一般財源 (千円)	2,605	4,379

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>A 社会教育主事講習派遣 ・平成28年度は7名の小中学校教員を講習に派遣した。</p> <p>B 派遣社会教育主事等の研修機会 ・平成28年度は社会教育主事の資質向上を図る研修会を8回（内1回は初任者研修、1回は青少年教育施設職員研修）を開催し、延べ参加者数は272名であった。</p>
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 派遣社会教育主事の有用性が認識され、未派遣であった出雲市に平成29年度から新たに2名を派遣した。 <p>A 社会教育主事講習派遣 ・講習受講者が20～30歳代の年齢層が増えたほか、女性受講者の割合が高くなっている。</p> <p>B 派遣社会教育主事等の研修機会 ・社会教育主事に共通するテーマについて、講義や演習等を効果的に組み合わせ、参加者の意識やスキルを高めることができた。 ・各市町村の取組や事業の進捗状況を共有することによって、多様性に触れ、研修後の実践につなげることができている。</p>
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <p>A 社会教育主事講習派遣 ・年度によっては受講希望者が少ないケースが見られる。</p> <p>B 派遣社会教育主事等の研修機会 ・「市町村派遣」「青少年社会教育施設」「研修センター」のそれぞれの立場における社会教育主事としての専門性、役割等、求められるニーズに合った研修内容が充分には提供できていない。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>A 社会教育主事講習派遣 ・教員の年齢構成が偏っていることもあり、受講希望する教員数が年度によってばらつきがある。</p> <p>B 派遣社会教育主事等の研修機会 ・時期、期間、回数、内容等の制約がある。</p>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>A 社会教育主事講習派遣 ・教員全体に社会教育主事の有用性やキャリアステージとしての価値を認識してもらう。</p> <p>B 派遣社会教育主事等の研修機会 ・時期、期間、回数、内容等を工夫する。</p>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<p>A 社会教育主事講習派遣 ・教員全体に対して、「社会教育主事資格」の有用性を理解してもらうための働きかけを行う。</p> <p>B 派遣社会教育主事等の研修機会 ・県の社会教育主事としての資質を高めるための研修を引き続き実施する。</p>
--